

ひとり1改革運動

「県民目線で仕事のやり方を見直そう」改革賞

“ゆずりあい”精神の道路交通システムで走行支援

【交通基盤部道路整備課 縣市町道班、島田土木事務所川根支所 工事班】

【道路整備課 縣市町道班】



【川根支所 工事班】



山間部にはすれ違い困難な区間が多数存在しており、山間部の地形的特徴から道路を拡幅するためには多くの費用や期間を要することから整備が進まず、道路幅の狭さやトンネル出口での見通しの悪さに対して地元からの早期改善要望が出ていました。

そこで、早期改善に向けて、高知工科大学と連携して“ゆずりあいロード支援システム”を川根本町に2箇所導入することにしました。

その結果、道路拡幅工事ではなく、システム導入というソフト対策を実施することで、早期にかつ低コストでの改善を図ることができました。工事と比較して、約10年の時間短縮と約5億円のコスト削減を達成できました。また、県民から感謝のお手紙をいただく等県民サービスの向上も実現しました。

工夫した点は？

- ・対向車の接近を知らせる表示板について、視覚的に分かりやすいイメージ表示（動的ピクトグラム）を採用しました。
- ・山間部では電力供給が難しいため、ソーラータイプのもので採用しました。

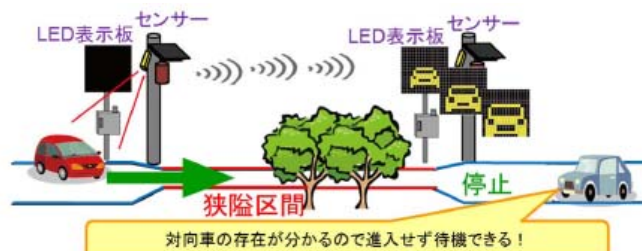
留意した点、苦労した点は？

- ・システムの技術的な面については、高知工科大学の指導や高知県との連携により事業を進めました。

※連携先：高知工科大学、高知県

今後に向けてさらなる取組は？

- ・H25年度からH26年度にかけて導入したシステムの効果検証を行い、必要に応じて改善を図りながら、県内の他箇所にも導入を図りたいです。



【「ゆずりあいロード支援システム」の概要】

<システムを導入した箇所>



県道川根寸又峽線(川根本町奥泉)

【実際のシステム導入箇所の様子】

【静岡県立大学 西野教授 から一言】

すれ違い困難な道路の拡幅には、多額の予算と長い工期を要します。本システムを導入することにより格段に低額の予算で利便性向上を実現しました。

システム自体は他地域で開発されたものですが、優れたものをすぐに取り入れる姿勢は、ひとり1改革運動の特徴です。今後の導入箇所増大によるカネ、時間の削減効果は巨額となるでしょう。